

【充電式補聴器】

2018年から各補聴器メーカーが取り入れている充電式補聴器について現時点での状況を記載します。従来の空気電池は一定期間（電池サイズにより異なります）で交換することが必要でしたが、充電式は定期的に充電することで電池交換の煩わしさを解消する補聴器です。現在充電式には2種類存在します。一つは「ハイブリッド」と称し、通常の空気電池と銀・亜鉛充電電池両方を、バッテリーケースを変えるだけで使える方式です。充電電池や充電器に何かの不具合が生じたときに空気電池で使用できるので安心です。もう一つはいわば「充電単独式」と言いましょうか、リチウムイオン充電電池のみが使用できる方式です。さらに、この方式は補聴器の切片と充電器が接触する「接触タイプ」と接触しない「非接触タイプ」があります。非接触タイプは補聴器と充電器それぞれに追加コイルを加える必要があるため、サイズが多少大きくなりますが、非接触なので汗などの腐食問題がありません。「ハイブリッド」と「充電単独式」のコストを比較すると、購入時は「ハイブリッド」が安いのですが、長期（3～4年）で比較すると「充電単独式」が優るようです。その理由は銀・亜鉛充電電池とリチウムイオン充電電池のサイクル特性（使用回数）にあるからです。今後の動向としては、リチウムイオン電池のサイズ縮小や形の柔軟性というメリットがあるので、「充電単独式」が増えていくことが推測されます。